

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和5年3月末現在
男 15,457人
女 15,370人
総人口 30,827人
世帯数 13,305世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.129 クサノオウ
(キンポウゲ目 ケシ科)

学名 *Chelidonium majus* L.subsp.
asiaticum H.Hara

写真・文 安 昌美

▼クサノオウとは
クサノオウは、草地や林縁などに生える越年草で、人家近くにも見られます。
茎は高さ30〜80cmになり、莖や葉には縮れた毛があります。折れた部分から黄く橙色の乳汁を出します。花は5月から7月に咲き、黄色で目立ちます。おしべは多数で、めしべは中央部にあり、柱頭は少し太くなり、先端は浅く裂けています。果実は直立し、中に小さな種子ができます。熟した種子は黒色で光沢があり、小さなエライオゾームと呼ばれるアリの好物が付いています。アリのこのエライオゾームを食べるために種子を運びます。石垣の隙間などにクサノオウが生えていることがあるのは、この

ためと言われます。私には、実際にアリの運び屋を見ることがありませんが、見てみたいものです。
秋に発芽し、ロゼット※の状態です。冬を越し、春から伸長します。ケシ科の植物ですので、汁液が体に付かないようにしましょう。
※茎の部分がほとんどなく、葉が放射状に地中から直接出てくる状態。タンポポの葉などのような形。

▼クサノオウという名前
由来の定説はなく、莖や葉の傷口から黄色い汁が出ることから「草の黄」という説や、皮膚病の「瘡」に効き目があることから「瘡の王」という説があります。また、皮膚病ばかりでなく内臓疾患にも効果があることから、草の王様の意味を込めて「草の王」という説もあるようです。
漢方では「白屈菜」の名があります。

第13回
**ひぬま
あじさいまつり**



開催期間 6月17日(土)～7月17日(月・祝)
イベント日 7月2日(日) 午前10時～午後4時 (荒天中止)
開催場所 沼沼自然公園

出店者募集 受付期間 5月9日(火)～5月16日(火) 午後1時～5時
※土・日・祝日を除く
詳しくは町ホームページをご覧ください。
【問合せ先】 商工観光課 ☎ 029-240-7124 (直通)